

広がる未来へ

52

*たはらエコ・ガーデンシティ構想

●太陽光発電設備の導入状況

平成22年3月末までに、市内50の公共施設に、合計221.70kWの太陽光発電設備を導入しました。平成21年度は、福江市民館に10.0kW、田原駅南公共駐車場の照明に0.34kW(0.17kW×2基)、緑ヶ丘住宅集会所に5.50kWの設備を導入しました。一般住宅への太陽光発電設備の導入量は、754件で合計2900.90kWになります。発電設備の総導入量は3185.99kWで、1年間のCO₂(二酸化炭素)の排出削減量は、約2561t-CO₂となり、原油に換算すると約1000kl(ドラム缶約5000本分)に相当します。

田原駅南公共駐車場の照明は、風力発電とのハイブリッドです。パネルに手をかざすと発電量が表示されますので、ぜひ発電量を実感してみてください。

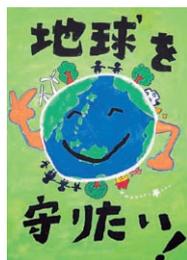


●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人909人・事業所54か所(7月末現在)

●地球温暖化防止啓発ポスター入選作品

●小学校高学年の部

宇治野優也くん(田原中部小学校)



●小学校高学年の部

井本汐音さん(亀山小学校)



●中学校の部

藤井志保里さん(赤羽根中学校)



※平成22年3月現在の学校名です

▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX23局0180



省資源のリサイクル

もやせるごみの約3割は生ごみで、その70〜80%が水分といわれています。生ごみに含まれる水分量を減らして、ごみを減量しましょう。

生ごみを捨てる前に水分をしょうろう!



昨年度、処理された生ごみは約5244tで、その約80%が水分だとすると、約4000tもの水分が燃やされていることになります。

一世帯当たり、1日に大さじ3杯分の水切りをしたとすると、市全体で一年間に3533tのごみを減量することができます。特に夏は、水分を多く含んだ生ごみが出されやすい季節です。水分をギュッとひとしぼりしてから、生ごみを捨てるようにしましょう。



最後のひとしぼりがポイントです!

水切りの効果は?



ごみを減量できるほかにも、いろいろな効果があります。

●悪臭防止

生ごみに含まれる水分が多いと、腐敗しやすく悪臭の原因になります。水分を減らすことで、悪臭を軽減させることができます。

●ごみ処理施設の燃焼効率があがる

水分量を減らすことで、熱効率がよくなり、機械の負担も減らせます。

ちょっとした工夫や手間で、ごみを減量することができます。すぐにできることから始めましょう。

清掃管理課

☎23局355008

FAX23局0180



ゴミゴミンとリサイクルレンジャー



28